

プロフィール

伊藤忠商事株式会社は、1858年創業時の繊維の輸出入・卸売りを中心とする事業形態から、現在では、生活消費関連、IT関連、資源開発、金融サービスに至るまでの幅広い分野へとその事業領域を拡大し、さらには、投融資やプロジェクトオーガナイズをも含む複合的な事業形態へと発展を遂げてきました。

2002年3月期からは、収益構造と財務体質の抜本的な改革を主眼とするA&P (Attractive & Powerful) 戦略*に基づく一連の中期経営計画を実施し、事業と資産の効率化を進めました。2004年3月期よりスタートした2か年の中期経営計画「Super A&P-2004」では、当社が圧倒的な強さを誇る繊維・食料等の「生活消費関連」分野と「中国を中心としたアジア」に経営資源を重点的に投入するとともに、将来の収益の柱となる「先端技術を含む新規事業」の強化にも取り組んでいます。

また、当社は1998年3月期より、ディビジョンカンパニー制を導入しています。7つのディビジョンカンパニーがそれぞれの事業領域において経営の責任を負うとともに、総本社が全社戦略の策定・総合管理を行うことで、ディビジョンカンパニーの自主経営と全社戦略のバランスのとれた、効率性の高い経営体制を構築しています。

これらの取組みにより、「業界トップクラスの企業から形成される連結純利益1,000億円規模の企業グループ」の実現が視野に入ってきました。この「新たな成長ステージ」を目指し、引き続き経営基盤の強化と収益力の向上に注力していきます。

*A&P戦略:お客様にとって魅力があり=「Attractive」、当社が強みを持つ=「Powerful」な分野に、ヒト・モノを含む経営資源を重点配分することで、収益力を強化する戦略。(A&P分野の詳細については、P14をご参照)

2004年6月29日、小林栄三が代表取締役社長に就任しました。これを受け、前代表取締役社長である丹羽宇一郎は、代表取締役会長に就任いたしました。